


会 議 録

会 議 の 名 称	川島町立図書館のあり方研究会第3回会議	
開 催 日 時	平成25年8月28日（水）午前8時30分から午後2時45分	
開 催 場 所	川島町立図書館視聴覚室	
議 題	（1）川島町立図書館のあり方について	
公開・非公開の別	公 開 ・ 非公開 ・ 一部非公開	
非公開の理由 （非公開の場合のみ）		
出席者	委 員	河島茂生、鈴木洋子、細野めぐみ、飯野理栄、森谷 彰、本間康予、関口昭彦、
	事務局職員	柴田生涯学習課長、山口副館長、笹岡主査、大谷
配 布 資 料	次第、資料－1、資料－2、資料－3	
審議会等の内容・概要		
<p>1 開 会 事務局</p> <p>2 あいさつ 河島会長</p> <p>3 議 事 議事進行：河島会長（議長）</p> <p>午前中に小川町立図書館、毛呂山町立図書館の施設・運営について視察研修しました。</p> <p>議題に入る前に、資料－1川島町立図書館資料収集要綱、資料－2川島町立図書館の児童書における選書基準について説明。資料－3では図書館サービスの将来ビジョンについて、研究会としていかなる方向性で検討するか全体のイメージモデルを提案し、論議の中で修正を加えていくこととしました。</p> <p>（1）町立図書館のあり方について</p> <p>今回は、第1回会議の資料6のうち20ページから21ページの③町民参加の図書館づくりと、経営の効率化・設備の充実。について委員から意見を募った。なお、前回と同様に後日「中間まとめ」で集約整理し研究会の意見としたい旨説明しました。</p> <p>③町民参加の図書館づくりと、経営の効率化・設備の充実。</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課から、これからはボランティアの方にいろいろお手伝いをと言われましたが、集まって活動しようとしても会議室などが埋まっていることがあり、活動しやすい状況が必要と思います。 ・新庁舎がここに出ると、集会スペースはコミュニティセンターあるいは新庁舎の会議室などが一体的になり、図書館の関連行事の時にも使えるといったメリットを最大限生かせると思います。 ・新たなボランティア団体の育成については、毛呂山町がやっているように、図書館のまわりにバラを植えてきれいにするとか、その位は実現可能と思います。 ・設備の充実では、図書館の視聴覚室を変えて本棚を持ってくるとか、おしゃべりコーナー、くつろぎのソファを設置することも考えられます。 		

- ・時代にあった設備の充実で、読書・学習支援の閲覧機の充実とパソコン、インターネット検索の設置やAV資料も見聞き出来たら良いと思います。予算面で苦しければ、パソコン利用可能スペースを設けるだけでも良いと思います。
- ・新庁舎と図書館の間を利用して、出来ればウッドデッキのようなものがあるといいですね。閲覧室のようにベンチを置いて。屋根があるともっといいですね。
- ・効率的な管理運営ですが、箱モノの運営管理という意味では指定管理者制度は納得するけど、私が知っている限りでは指定管理者の制度の中ではそれだけの意識をもって受ける団体は少ないのではと思います。NPOであれば可能性はあると思います。
- ・民間の会社をお願いするということは予算面でおそらく折り合いはつかないと見込まれます。おそらく川島町としてもし導入するのであれば、NPO法人ということになると思います。毛呂山町の例では、幸運だと思ったのは、ああいったものを立ち上げてくれる元職員さんがいたということです。それも複数名いたということが非常に大きい地盤になっています。また、庭などの施設の維持管理や図書館事業に対する地域のボランティアさんの協力をいただいていることも図書館運営を活性化しているように感じました。
- ・利用者は運営先が変わったとしても、今まで通りのあるいはそれ以上の運営を求められるでしょうから、それが確保できるかというのが一番のポイントになると思われます。
- ・議長から、次回の会議の予定を10月30日（水）として諮ったところ、出席者全員が了承した。

9 閉 会
関口副会長

署 名	森谷 彰 
	本間康子 